

「生き物に触れて、自然を体感しよう！」

緑あふれるニュージャージー州テイーネットワークでおいしい空気を感じながら、ゆかいな生き物たちの生体を観察する！



編集部が行ってきました。
(不定期掲載)

皆さん、最近自然に触れていますか？ 仕事や勉強も良いけれど、インドアになっている場合ではないか。夏は外出を思いきり楽しんで、たまには郊外に向いてリフレッシュすることも大事。自然と触れ合うことは癒しの効果もあり、日常のストレス解消にもつながるのだよ。

今回D子とS太郎が訪れたのは、マンハッタンから車で約30分の所にある「World of Wings Butterfly Museum & Children's Playland」。ここは珍しい爬虫類や蝶などの昆虫が間近で見られる博物館だとか。それでは早速行ってみよう。

お題①・・・爬虫類たちの日常を観察

入口を入ってすぐのところにある爬虫類のコーナー。人によっては苦手なこの種だが、恐れずにまず見て欲しい。岩の上で「待っていました！」と言わんばかりにご丁寧に出迎えてくれたのは、珍しいトカゲ。これを見てD子は驚愕の顔。というの透明の囲いは蓋がされておらず、顔を近づけるとトカゲくんが目と鼻の先にいるのだ!!「ほほくなるほど。こういうことか」と早くも同館の魅力を理解したD子。



人懐っこいフトアゴヒゲトカゲ (Central Bearded Dragon)



遊びにきてね!

時々館内を散歩するというステイーウーくん

生き物は蓋のない檻の中で展示されているのだ。Yさまざまな種類のトカゲや、大きなイグアナを横目に進むと、その奥はへび&カエルコーナーに。「きゃー珍しいー面白い模様」と興奮気味のD子の後ろで「うー見られへんわ」とビビり気味のS太郎。しかし!!よく見てみると爬虫類たちはつづらな瞳に大きな口。親近感が湧いてくつてもかわいではないか。

さらにD子たちは同館のアイドル、ケツメリクガメのステイーウーくんにご対面。約70年も生きるといってケツメリクガメは意外とスピーディーに動くことができるそう。

お題②・・・蝶の部屋で蝶に接近



蝶がこんなに近くに!
(※ 接触は禁止)

次に向かったのは蝶の館「the atrium」。黄色やオレンジ、青といったカラフルな蝶たちがとても楽しそうに、優雅に飛び交っている。側の枝に止まっていた蝶に近づいてみると、今にも手が届きそうなくらい

近くでおいしそうに蜜を吸っている様子が見える。きれいな模様を眺めるだけでなく、蝶たちがどのように生活をしているのか観察することができる。勉強の場にもなるのだ。

蝶は天気が良いほど活発に飛ぶというが、D子たちが訪れた日は少し曇っていた。それでも十分に蝶を眺めることができたので、晴れの日をきつと蝶のパラダイスとなるはず。

同館ではほかにもカブトムシやクワガタなどたくさんさんの昆虫の標本や、高貴な種類の生きたゴブリなども展示されている。

World of Wings Butterfly Museum & Children's Playland

1775 Windsor Rd, Teaneck, NJ
201-833-4650 www.wowbutterfly.com

水～日: 10am-6pm (一般公開)
※ 月・火は学校などのプログラム用に閉館。詳細は要問い合わせ
駐車場完備

入場料: 大人 16ドル
子ども 11ドル

夏のイベント情報 9月6日まで

- 水** トランポリン無料 3pm～5pm
- 木** 入場料半額 大人8ドル / 子ども5.50ドル
- 金** 親子の日 第1・3金曜 11am～12pm (親子各1人で入場料20ドル、子ども1人追加につき5ドル)
- 土** ストーリータイム 第2・4金曜 11am～12pm
- 土** アート&クラフト 1pm～3pm
- 日** Show & Tell 11am～2:30pm (生き物と触れ合い生体を知る)

まとめ

「帰りたいくない」と泣き出してしまいう子どももいるというこの博物館は大人も時間を忘れて楽しめる場所。基本的に展示されている生き物への接触は禁止されているが、日曜の「Show & Tell」では実際にトカゲやへびに触ることが出来る。

また同館には複数の宴会場もあるので、披露宴や食事会などの集まりに利用してみても(最大220人まで収容可)。

たまには小旅行気分ですら遠くまでドライブして、この夏はいつもとは違った遊び方をしてみるのもいいかも。



大人気のトランポリン。大人はダメよ～



シャボン玉ルームではしゃぐS太郎

お題③・・・プレイルームを探索

同館ではトランポリン、ロッククライミング、シャボン玉、アート、3D体験など20以上のプレイルームも設けている。自然に触れて体を動かして、子どもにとっては夢の国となりそうだ。



体力だけでなく頭脳も必要なロッククライミング